

評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 趣味活動、クラブ活動があり、障害の特性に合わせて利用者が選択できる。コロナ禍で外出は困難であるが、利用者の好みの食べ物、生活用品を週に1回生活支援員が、買い物の代行をしている。 利用者が住民会議で生活上のルールを話し合う時には、職員が調整しつつ、利用者の自己決定を尊重している。また、岐阜県社会福祉協議会開催の障がい者虐待防止、権利擁護研修に参加し、内部研修でも取り上げ、利用者の自己決定を尊重した支援に取り組んでいる。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-1-(2) 権利擁護

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 虐待防止委員会が月に1回虐待防止の事例研修等を行い、適切な支援が来ているか振り返り、部署の枠を超えて評価をしている。また、虐待防止チェック表も活用し、利用者の自己決定、自己選択を尊重した支援につなげている。 大学の研究課題に協力し、プライバシー保護の意識を高め、業務の参考にしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 自己決定が困難な利用者は家族から入居前の状態を聞き取りして確認し、カンファレンスで具体的な支援方法を定め、生活介護の中で、口腔ケア、整容、食事動作、介護動作等を、利用者に支援している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 文字ボード、AIスピーカー等を活用し、医師、職員、家族と連携し、理解できるように意思確認している。意思表示が困難な利用者に対して家族の情報から、関わりを考察し、理解されるよう取り組んでいる。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 介助時の会話の中から聞き取りし、住民会議（利用者会議）で相談を受けている。アセスメント、モニタリング時に必要なことを個別支援計画に反映させている。支援会議では、参加できない人に、事前に聞き取りし個別支援計画に反映させている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 個別支援計画を基に適切な支援を行いクラブ活動、作品作り、喫茶支援、市のふれあいサロンの情報提供している。また、利用者が作られた作品を展示するための情報提供もしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 生活支援員は殆どが介護福祉士の資格を持ち、看護師、管理栄養士、社会福祉士等様々な専門職と連携し、障がいに応じた支援を行っている。カンファレンスや勉強会で障がいの特性・行動を分析し、対応策を職員間で共有し実践している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：の 介護の知識や技術のみならず、知的、精神障害についての理解度を深める研修にも期待したい。</p>	

A-2-(2) 日常的生活支援

	第三者評価結果
A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 毎月、食事の内容や味付け、量等の感想や、嗜好を聞き取り、その結果を委託業者に伝え改善に努めている。栄養ケア計画に基づき、個々の食事形態で提供し、誕生日にはケーキでお祝いをしている。</p> <p>平成20年頃よりノーリフトケアを推奨し、障がいの状態に応じた車いす・リフト・エアーマット等の福祉機器を活用している。</p>	

改善できる点／改善方法：
 現在、床から車椅子への介助はリフト対応ではないので、リフトの買い替えもしくは新規導入の際には職員の腰痛予防のためにも、ハンガーの可動域が床まで届くリフトの検討に期待したい。

A-2-(3) 生活環境

		第三者評価結果
A⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 利用者の状態によっては、看護師、生活支援員が対応しやすい場所の居室を用意し、安心・安全に配慮している。清掃や洗濯業務専任の職員を配置し、清潔で快適な環境を確保している。廊下に手すりを設置し、物品を置かない環境にしているが、臨時的に車椅子等を置いても十分な広さが確保されている。居室は利用者の状態で低床ベッドや畳敷になっていたり、家具を毛布で覆ったり、コーナーガードテープ、クッションテープを使用し転倒や怪我防止対策を講じ安全な生活環境に努めている。 また、各居室に加湿器を設置し、適切な湿湿度になっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

		第三者評価結果
A⑩	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 理学療法士が機能訓練を担っている。生活支援員は理学療法士の助言を受け日常動作を活かした生活リハビリに取り組んでいる。状態の変化時は、医師、看護師、理学療法士、生活支援員が連携して検討し個別支援計画に反映させている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

		第三者評価結果
A⑪	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 多職種が連携し、バイタル管理、体重管理、食事摂取量、排泄等の健康管理を行い、異常時、緊急時の対応、感染症対応等のマニュアルを整備し、迅速に対応できるように勉強会などで指導している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
A⑫	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a

<p>良い点／工夫されている点： 医療行為は、看護師が対応している。薬は契約薬局薬剤師が人別・日時別等に毎日、配薬箱に分別し、看護師が手順書に則り配薬し誤薬防止に努めている。また事故防止のため、手順書の見直しを図り、研修会や勉強会で指導している。</p>
<p>改善できる点／改善方法： 現在は喀痰吸引が必要な利用者がいないため、積極的に職員に喀痰吸引ができる資格取得を進めていないが、今後、利用者の重度化高齢化のケア対応に向け、喀痰吸引ができる職員の育成に期待したい。</p>

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： コロナ禍以前は、友人、家族と買い物や散歩に出掛けたり、帰省する利用者もいて、希望や要望に出来る限り対応していた。最近では、SNSを利用した交流やイラストの投稿、ネットショッピングを楽しむなどインターネットを通して社会とつながりを持つ人もいる。 週1回ビーズ作品、組み紐、学習等、1人ひとりの希望に合わせた支援を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： これまでに数名の地域移行した利用者がいたが、今は施設入所が、在宅での生活やグループホーム等での生活が困難となった受け皿的な存在になっている。行政から介護保険利用の案内が届いた時点で、相談を受け、移行希望を本人、家族に確認しているがニーズとして挙がってこない。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 家族懇談会を年1回開催し、施設運営報告や利用者の様子を伝え、意見交換を行っていたが、コロナ禍で中止とし、面会希望の家族には、ガラス窓越しや玄関ホールに感染予防対策をして臨時に設けた場所で面会ができる環境を整えている。 また、施設内で行った行事写真にメッセージを添えて家族に送り、関係が途切れないようにしている。</p>	

改善できる点／改善方法：

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	非該当
良い点／工夫されている点：	
改善できる点／改善方法：	

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	非該当
良い点／工夫されている点：	
改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	非該当
良い点／工夫されている点：	
改善できる点／改善方法：	
A⑲ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	非該当
良い点／工夫されている点：	
改善できる点／改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-(1) 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
--	---------

A② A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>施設内・外の研修についての年間職員研修計画を掲示し、職員が計画的に参加できるように調整している。1年間の部門目標・計画が策定され、それに基づいた個人目標と計画が作成され、定期的に面談を行い、目標到達状況、業務、取得状況などを把握し、必要な研修の提供し、段階に合わせスキルアップしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
A② A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者個人のパソコンでスカイプができるように設定し、海外の家族と話せる支援を行った。AIスピーカーと家電をつなぐスマートホーム化にし、音声で家電やナースコールが使えるよう支援している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>3Dプリンターを使った自助具作成研修がコロナ禍で中止になったが、開催時には参加し、利用者支援に活用されたい。</p>	